

令和6年度 学校評価

学校評価について

南奈良看護専門学校では学校運営評価を実施しています。評価を実施することで自己改革と教育の質の向上を目指し、学校運営の改善に努めています。①学校職員のよる学校運営評価、②授業評価、③学校満足度評価の結果をもとに、学校評価を行っています。令和7年3月4日学校自己評価委員会、令和7年6月3日に学校関係者評価委員会を実施しました。評価の結果を次年度の組織目標に反映し、より良い学校運営につなげていきます。

学校運営評価

学校運営評価表は厚生労働省の看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針：看護師等養成所自己点検・自己評価指針と文部科学省生涯学習政策局の専修学校における学校評価ガイドラインをもとに、教育活動の自己評価のためにカテゴリーに分類し作成した評価表です。教職員が4段階評価【4:良い(評価結果を基に検討し、対策を立て実施している) 3:普通(現状把握の資料に基づき、問題の有無を明らかにしている) 2:やや不十分(調査や情報を収集して現状を把握している) 1:不十分(評価していない)】したものをカテゴリー別に平均を示したものです。(表1、図1)

令和6年度の学校運営評価は以下のとおりでした。

表1. 学校運営評価の概要

評価領域	項目数	主な内容	結果
I 学校経営	7	学校運営方針、目標設定、学校評価、組織・運営	3.4
II 教育課程・教育活動	15	カリキュラム、教育計画、教育支援、授業間の関連や協力体制、評価	3.4
III 入学卒業対策	5	入学生の確保、国家試験対策、卒後のキャリア形成	3.6
IV 学生生活への支援	5	就職支援、学生相談、健康管理、保証人との連携、課外活動	3.5
V 管理運営・財政	4	予算と執行、人権擁護、危機管理体制、学校運営	3.5
VI 施設・設備	5	施設・設備、教材の整備、実習室、福利厚生施設	3.5
VII 教職員の育成	5	研修、研究活動、授業参観・公表	3.5
VIII 広報・地域活動	4	広報活動、地域貢献、公開講座、ボランティア活動	3.2

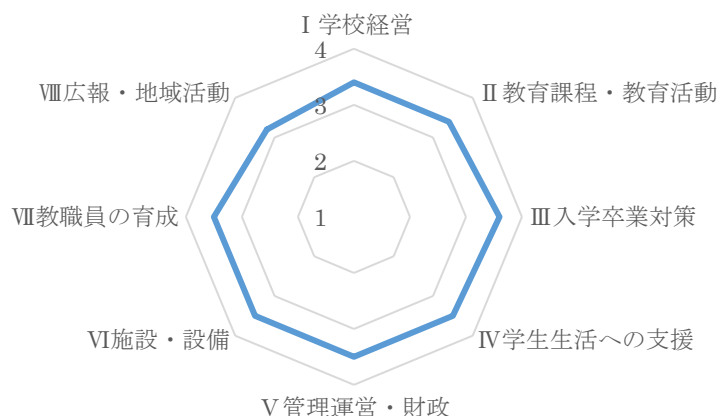


図1 学校運営評価

学校運営評価結果と今後への活用

「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」および「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」の第5次改正後、すべての学年が新カリキュラムへ移行しました。

看護実践能力を育成するためのパフォーマンス評価については、全教員で方略を共有し教授方法を工夫しています。ICT教材等を活用し、アクティブラーニングを取り入れながら自律して主体的に学習できる学生の育成に努めています。また、講義・演習・臨地実習で育成した看護実践能力を卒業時に客観的に評価できることを目指します。

授業評価について

授業評価は、授業終了時に講義、演習、実習別に学生が学習管理システム（以下 LMS という）のアンケート機能を用いて各質問に対して 4 段階【とてもそう思う、そう思う、そう思わない、全くそう思わない】で評価しています。実施した結果を担当の講師にフィードバックし、講師が授業自己評価を実施し次年度の講義につなげるようにしています。令和 6 年度に実施した講義（基礎分野、専門基礎分野、専門分野、統合分野）のうち 15 時間以上の講師の講義 59 科目について各項目毎に平均を示したものです。（図2）授業を振り返り、学生が内容を理解でき、学習目標が達成できるように努めます。

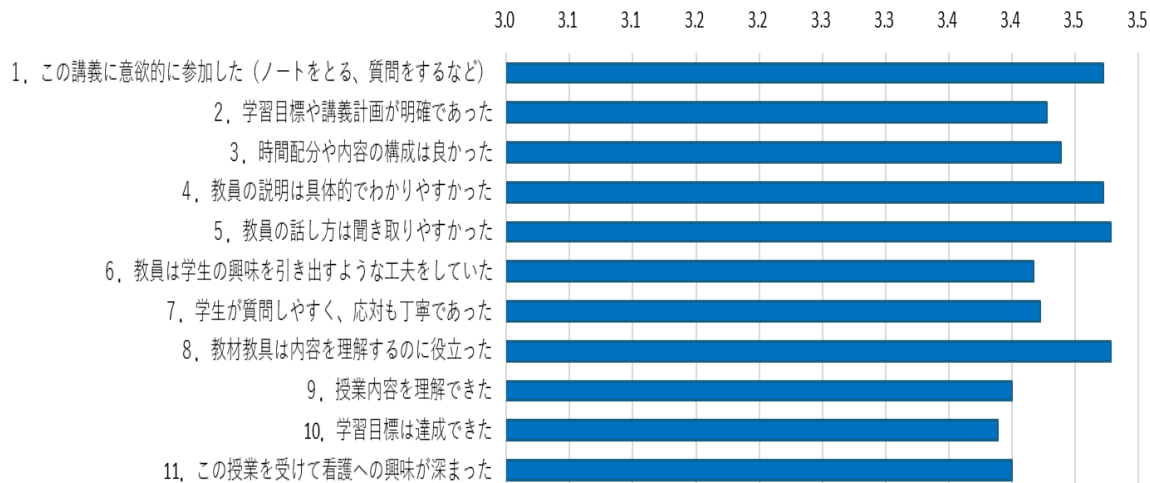


図2 学生による授業評価

学生満足度評価

学生満足度評価は令和7年2月末にLMSを使用して学生満足度アンケート調査を実施した結果です。質問に対して【とてもそう思う、そう思う、あまりそう思わない、まったくそう思わない】の4段階で回答した結果で、学生 98 名から回答を得ました。(図3)

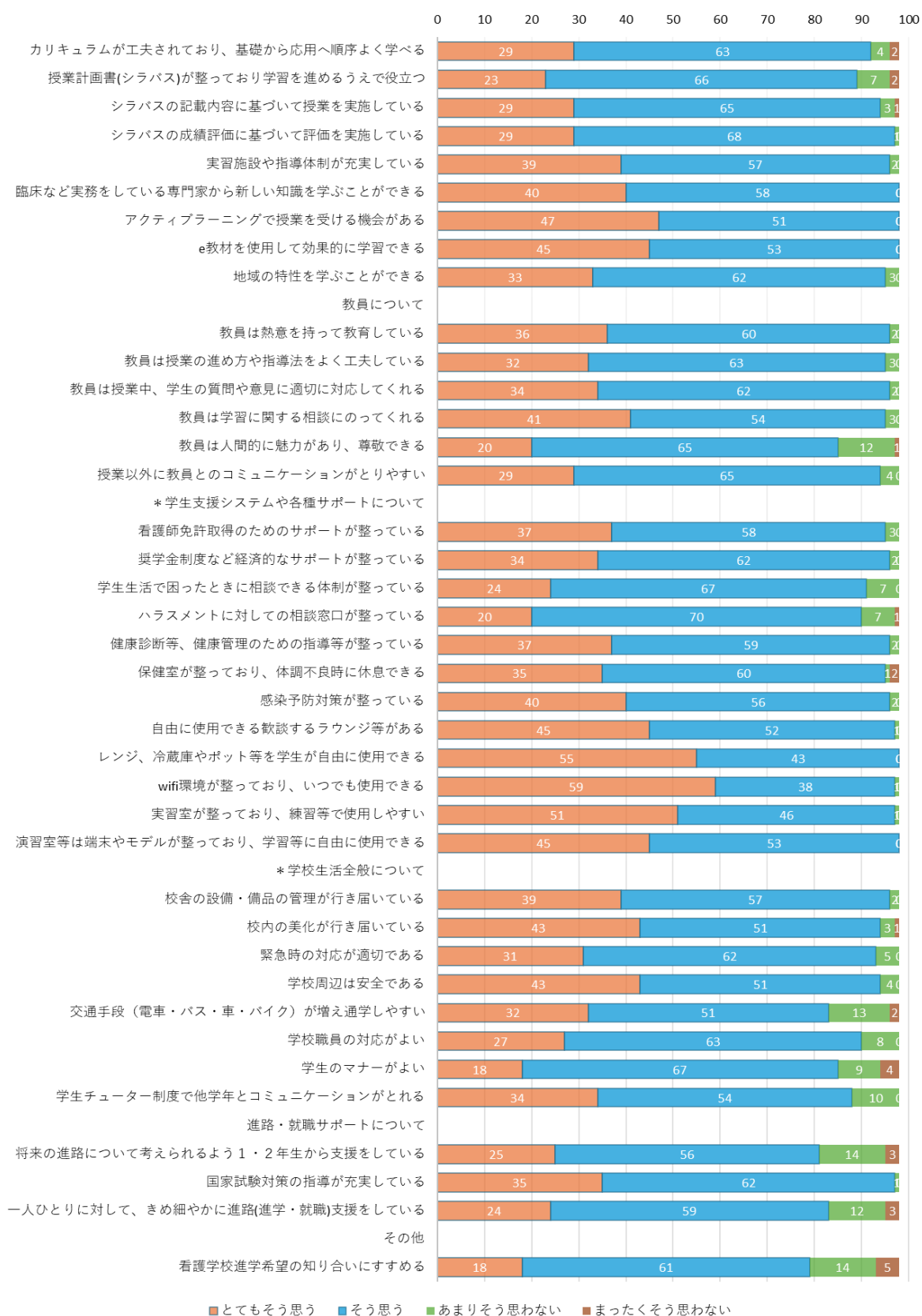


図3. 学生満足度調査結果